

チュートリアル課題 けしの実

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30173

Block 1-4 期

Tutorial 課題 No. 14

「けしの実」

薬物の作用機序と体内動態（麻薬性鎮痛薬）



2009

※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

薬理学教室

2009-B1-T4-14
けしの実

シート1

ある初夏の夕方、女子医大生のK子さんはその日あった出来事をお母さんに話しています。

K子「今日は実習で薬草園を訪れたのよ。囲いの中で咲いているけしの花はお花屋さんで見る‘ひなげし’より迫力があったわ」

母「そう。うちのおばあちゃんが癌と言われた時、ものすごく痛くて辛そうだったけど、この花からとった薬のおかげで、痛みが劇的に治まったのよ」

シート2

母 「おばあちゃんの担当の医師に聞いたんだけど、昔は、モルヒネの投与をためらっていたそうよ」

K子 「本当？」

母 「ええ、それで薬の作用が切れて痛くて我慢出来なくなってから、はじめてモルヒネを大量に注射することを繰り返していたらしいの」

K子 「モルヒネの一气飲みを繰り返していたって感じなの？」

母 「そう、だから色々悪いことが起こったそうよ」

K子 「でも今は、そんなことないでしょ」

母 「そうね、おばあちゃんはいつも薬の時間を気にして、忘れずにきちんと飲んでいるわ。最近は痛みも全くなかったようだよ」

2009-B1-T4-14

けしの実

補助シート

数日後、K子はお母さんとおばあちゃんに会いに行きました。
祖母「最近は痛みもすっきりないから韓国旅行にいこうと思うのよ」
母「薬さえきちんと飲めればいいんじゃないかしら」
K子「でもその薬って海外に持っていけるのかな」